

インドネシア金融政策（2019年10月）

4会合連続となる利下げを実施

2019年10月25日

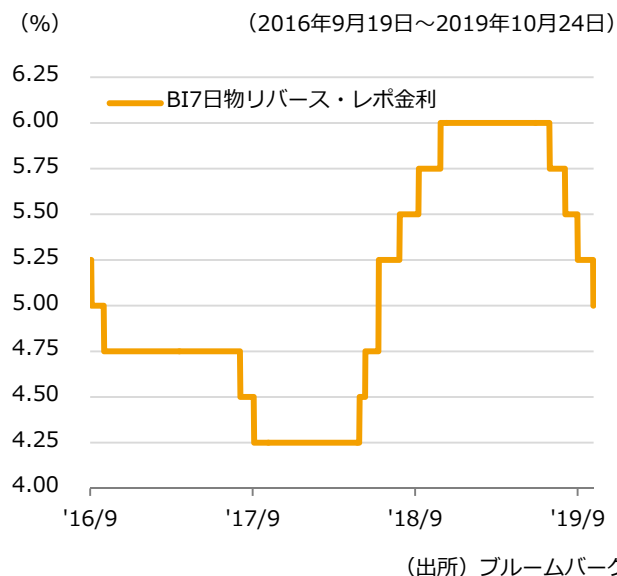
0.25%ポイントの利下げを実施

10月24日（現地、以下同様）、インドネシア銀行（中央銀行）は政策金利であるBI7日物リバース・レポ金利を0.25%ポイント引き下げ、5.00%にしました。また、預金ファシリティ金利を4.25%に、貸出ファシリティ金利を5.75%にそれぞれ0.25%ポイント引き下げました。0.25%ポイントの利下げは、おむね市場の予想通りでした。

インドネシア銀行は利下げの理由について、インドネシアの経済成長を後押しするための予防的な措置と説明しました。米中貿易摩擦をめぐる不透明感がくすぶり、世界経済の減速懸念が強まる中で、インドネシアの経済成長を下支えするためにさらなる利下げが必要と判断したとみられます。また、今回の利下げはインフレが目標範囲内にコントロールされていることとも整合的だと述べました。今後の金融政策については、国内および世界の経済情勢を注視し、政府と協力して利下げ以外の手段も組み合わせながら実施していくと述べており、今後も緩和的な政策が続くとみられます。

10月20日、大統領の就任式が行われジョコ政権の2期目が始動しました。ジョコ大統領は首都移転やインフラ（社会基盤）投資、外資の誘致を促すための規制緩和などを通して国内経済の活性化を図っており、公約をどれだけ実行に移し経済成長につなげられるかが注目されます。また、主要先進国・地域での緩和的な金融政策は、相対的に高金利なインドネシアの通貨を引き続き下支えすると考えています。

政策金利の推移



インフレ率の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。